

(別紙)

令和8年3月定例会議 一般質問

5番議員 武井 正広

山神町政における各種協定締結の成果と実効性について問う

山神町長就任以降、開成町は企業や大学、他自治体などとの間で多様な協定を積極的に締結している。こうした取り組みは町の発展や連携体制の強化に資するものとして一定の意義はあると考えるが、一方で住民の中には「協定の数ばかりが増え、具体的な効果が見えにくい」、「締結そのものが目的化しているのではないか」との声も聞かれる。

そこで、これまでに締結された各種協定（企業連携、自治体間連携等）について、町として現時点でのどのような成果や実務上の効果が現れていると認識しているのか伺う。

また、それらの取り組みが町民生活の向上や地域課題の解決にどのように結び付いたのか、具体的な事例はどのようなものか。

さらに、防災・災害対策に関する協定については、大規模災害時に締結先の企業や自治体が実際に資源を提供できるのか、協定が実動する実効性をどのように確保しているのか懸念される。机上の計画に終わらせらず、実際に機能する体制が構築されているのか、その検証状況と今後の運用方針についての見解を問う。